



ノイチゴはどんなところにあるの

へいち さんち にほんぜんこく 平地から山地まで、日本全国いたるところ

のやま しぜん は
野山に自然に生えているものをノイチゴといいます。さいばいされているイチゴは、オランダイチゴの仲間です。野生しているシロバナノヘビイチゴ、モリイチゴ、ノウゴウイチゴは、さいばい種に非常に近く、食べておいしい種類です。

しかし、いちばんよく目につくのは、道路わきなど、いたるところに見られるヘビイチゴでしょう。ヘビイチゴは香りも味もしませんが、毒はないので食べても大丈夫です。しかし、とてもまずいイチゴです。

キイチゴ

また、キイチゴとよばれる仲間が、日本にはおよそ50種あります。ナワシロイチゴ、カジイチゴ、モミジイチゴなどです。5月から9月にかけて、平地あるいは山地で、何らかの種類のイチゴが手に入ります。

し ひと おそ 知っている人に教わること

しよくぶつ しゆるい せいかく みわ
植物の種類を正確に見分けるのは、なれないとむずかしいので、さいしよ よく し
人と一しょにいくことがたいせつです。そのような機会がなければ、じぶん みわ
ません。とった場所、まわりのようすなどを書きとめて、あとで図鑑で調べてください。幸
い、どく
毒になるイチゴはないので安心です。（監修・中山 周平）

